

目次

I. 総括研究報告

読書が可能な人工視覚システム（脈絡膜上 - 経網膜電気刺激（STS）法）の実用化	1
--	---

主任研究者 不二門尚

分担研究者：西田幸二、瓶井資弘、貴島晴彦

研究協力者：坂口裕和、森本壮、西田健太郎、神田寛行、圓尾知之、遠藤高生

II. 分担研究報告

1. 経角膜電気刺激による神経保護効果に関する研究	7
分担研究者 不二門尚 （研究協力者：森本壮）	
2. 人工視覚シミュレータによる 第三世代の STS 方式人工網膜システムの有効性評価	11
分担研究者 不二門尚 （研究協力者：神田寛行） （研究協力者：土井貴弘）	
3. 上脈絡膜下腔電気刺激での帰還電極の位置が 大脳皮質誘発電位に与える影響の検討	15
分担研究者 瓶井資弘 （研究協力者：西田健太郎）	
4. 手術術式の評価および対象患者の選択基準の確立に関する研究	21
分担研究者 西信良嗣	
5. 網膜色素変性における網膜酸素飽和度と血管経に関する研究	27
分担研究者 林篤志	
6. 病眼における網膜の画像診断の有用性および限界に関する研究	31
分担研究者 平形明人	
7. STS 型人工網膜システムの術式の検討（頭蓋部に関して）	35
分担研究者 貴島晴彦 （研究協力者：圓尾知之）	
8. 臨床試験実施に向けた体制整備と研究デザインの検討	41
分担研究者 梅垣昌士	

9 .	人工網膜術後のリハビリテーション法の開発 - 視線移動の研究 -----	43
	分担研究者 北澤茂	
10 .	システム開発に関する研究 -----	47
	分担研究者 太田淳	
11 .	STS 型人工網膜体内装置の耐久性に関する研究 -----	49
	分担研究者 小澤素生	
(資料 1)	進行した網膜色素変性に対する、脈絡膜上 - 経網膜刺激 (STS) 法を 用いた人工視覚システム長期埋植の、 前向き非盲検パイロット試験 実施計画書 -----	55
III.	研究成果の刊行に関する一覧表 -----	73

研究成果の刊行物・別刷